

平成26年度郡上市内民俗資料館視察報告

現在、旧鷲見分校の校舎には、高鷲町の民俗資料が保管されています。この民俗資料は、十数年前から高鷲町民から寄贈していただいた生活用具や生業用具など高鷲の風土・民俗を知る上で貴重なものです。これらの資料を保存・保管・展示するたに、高鷲文化財保護協会として、長年行政当局へ民俗資料の収蔵庫または資料館の建設をお願いしてきたところですが、この度、郡上市から予算が付き、高鷲文化財区から設計費をいただき、このことにより、資料館を町民センター内に設置する計画が立てられました。このことにより、資料館の建設費は、郡上市教育委員会から高鷲町が収集した民俗資料収集目録作成の依頼を受け、会員の協力により、見分校に保管してあります民俗資料の洗浄とその移動を、会員の皆様にお願いしな

また、民俗資料がどのようなかたちで市民に展示・公開をするかを参考にするために、高鷲振興事務所のご協力を得て、郡上市内の民俗資料館視察を 11 月 27 日（木）に和良歴史民俗資料館と白山文化博物館を見学しました。次にそれぞれの見学博物館について報告します。

和良歴史民俗資料館

和良歴史民俗資料館は和良ドームのある「道の駅」に隣接する建物で、郡上市合併前に建設されたものです。和良文化財保護協会の会員 3 人の方に案内をしていただきました。当館は、民俗資料展示室と歴史資料展示室、民俗資料収蔵庫、研修室からなり、それぞれ懇切丁寧な説明がありました。特に、民俗資料の展示方法やディスプレイは大いに参考になりましたので以下に写真でその一部を報告します。



囲炉裏が切ってある展示室



ダンスとマネキンで資料展示



衝立を利用した順路案内



陳列ケースに入った民俗資料

白山文化博物館

白山文化博物館は長滝白山神社前の「道の駅」に隣接しています。当館へは午後到着し、学芸主事の鈴木氏の案内で見学しました。当館は、白鳥歴史民俗資料館として発足しましたが、その後、長滝白山神社（美濃馬場）所有の歴史資料を展示する白山文化博物館として再出発し、「道の駅」の施設の一部として開発されました。よって民俗資料の展示としては郡上地方では「明宝歴史民俗博物館」に次いで古い施設です。鈴木学芸主事は、「民俗資料を展示する場合はその使い方も説明する必要がある」との助言をいただきました。大いに参考になる言葉でした。



昔の座敷展示



昔のいずみ・台所展示



パネルで民具説明



壁面に飾られた山樵用具

高鷲民俗資料館建設のために、みんなで頑張りましょう！